

令和 5 年 第 2 回 臨時会

摂津市教育委員会会議録

開催日時 令和 5 年 8 月 9 日（水） 午後 1 時 0 0 分開会
午後 3 時 0 0 分閉会

開催場所 摂津市立コミュニティプラザ コンベンションホール 1

付議事件

議案番号	件 名	審議結果
2 9	摂津市立小中学校における令和 6 年度使用学校教育法附則第 9 条 関係教科用図書、摂津市立小中学校における令和 6 年度使用教科 用図書採択の件	承認

教育長職務代理者	福元 実	教育総務部長	安田 信吾
委員	大矢 優子	教育政策課長	松田 紀子
委員	坂井 知子	教育総務部副理事	河平 浩一
委員	藤村 裕爾	兼学校教育課長	
		教育支援課長	武田 進介
		教育支援課長代理	濱岡 徹
		教育支援課主査	安田 昂平
		教育政策課長代理	藤原 崇裕
		教育政策課係員	藪田江里佳
		教育政策課係員	今井悠加奈

福元教育長職務代理者	ただいまから、令和５年第２回教育委員会臨時会を開催いたします。本日は箸尾谷教育長が欠席です。そのため、職務代理者である私が議事進行をさせていただきます。 本日の付議事件は１件です。それでは、議案第２９号のうち「摂津市立小中学校における令和６年度使用学校教育法附則第９条関係教科用図書採択の件」について、教育支援課から説明をお願いします。
教育支援課長	議案第２９号のうち、まずは「摂津市立小中学校における令和６年度使用学校教育法附則第９条関係教科用図書採択の件」について、ご説明申し上げ承認を求めるものです。 【以下、議案書等により説明】
福元教育長職務代理者	説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等はございますか。
大矢委員	昨年度は「拡大教科書」と「一般図書」を採択しました。今年度は「拡大教科書」のみ申請があったとのことですが、現在「一般図書」を使用している児童への配慮はきちんとされているのでしょうか。
教育支援課長	昨年度に「一般図書」として採択された「文部科学省著作教科書」いわゆる「星本」を使用している児童２名は、現在「こくご☆☆☆」及び「さんすう☆☆☆」を使用しておりますが、来年度は第９条関係教科用図書ではなく、下学年の教科書を使用する旨を当該学校から申請を受けておりますので、今回は「拡大教科書」のみの採択することとなっております。 なお、対象児童への配慮についてですが、学校からの申請時に対象児童の状況や学校での様子、学校で行っている配慮等は教育委員会事務局でも確認しております。
坂井委員	「拡大教科書」の使用は全教科でしょうか。

教育支援課長	今回、小学校 国語、算数、書写、音楽、道徳の 5 教科と中学校 国語、数学、理科の 3 教科の申請がございました。
福元教育長職務代理者	他にご意見・ご質問等ございませんでしょうか。 質問等が無いようですので、議案第 29 号のうち「摂津市立小中学校における令和 6 年度使用学校教育法附則第 9 条関係教科用図書採択の件」について、学校からの申し出のとおり対象児童生徒が必要とする種目で且つ令和 6 年度使用教科書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採択することとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
全委員	異議なし
福元教育長職務代理者	異議なしとのことですので、議案第 29 号のうち「摂津市立小中学校における令和 6 年度使用学校教育法附則第 9 条関係教科用図書採択の件」について、学校からの申し出のとおり対象児童生徒が必要とする種目で且つ令和 6 年度使用教科書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採択することといたします。 続きまして、議案第 29 号のうち「摂津市立小学校における令和 6 年度使用教科用図書採択の件」について審議いたします。 審議に入るにあたり、令和 6 年度使用教科用図書採択にかかるこれまでの教育委員会の活動の経緯について私からご報告申し上げます。 令和 5 年 3 月 31 日付け文部科学省初等中等教育局長通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」、並びに同日付け文部科学省初等中等教育局教科書課長通知「令和 6 年度使用教科書の採択事務処理について」、及び令和 5 年 4 月 14 日付け大阪府教育委員会教育長通知「義務教育諸学校における令和 6 年度使用教科用図書の採択について」に基づき、採択の公正確保と静ひつな採択環境の確保に十分留意し、専門的な調査研究活動を行うため、「摂津市立小中学校教科用図書選定委員会」を組織しました。 そして、同委員会に対して、「令和 6 年度使用摂津市立小学校教科用図書の選定に関する事項」について令和 5 年 4 月 24 日付けで諮問を行い、令和 5 年 7 月 26 日付けで摂津市教育委員会に対して答

申が提出されました。

答申には、見本本が届けられた全発行者の教科用図書の特徴、選定委員会としてさらに各者を比較した点とその特徴が記載されており、また、種目ごとの発行者数に応じて、1者または複数者を採択候補とする順位付けがされておりました。

答申をふまえ、令和5年7月下旬から8月上旬の3日間で教育長及び教育委員による教科用図書採択に関する学習会を開催し、意見交換を行いました。なお、学習会では、摂津市立小中学校教科用図書選定委員会から提出された答申のほか、小学校教員が作成した調査報告書、学校及び摂津市教育研究会からの意見書、教科書見本本展示会において寄せられた意見、そして大阪府教育委員会が作成した「令和6年度使用教科用図書選定資料小学校用」を参考にいたしました。

以上がこれまでの活動の経過です。

それでは、まず国語の審議に入ります。

「東京書籍」・「教育出版」・「光村図書」の3者から見本本が届きました。3者とも、言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びを実現させるための言語活動を取り入れるなどの工夫がされていました。

選定委員会からの報告書では、『「光村図書」は、単元の「目標」とそれを達成するための着眼点が簡潔に示されており、国語の見方・考え方を通した学習が進められるように工夫されていました。また、「個別最適な学び」の実現に向け、一人ひとりの子どもの興味に沿って学び進められるよう選択課題が設けられておりました。

「東京書籍」は、単元で身に付けたい力が「言葉の力」として学習過程の中核に位置付けられ、学習のポイントが一目でわかるように工夫されていました。』とあり、「光村図書」「東京書籍」の順に候補として推薦がございました。

以上の報告をふまえ、国語についての採択を行いますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

大矢委員

私は「光村図書」が良いと思います。特に「国語を楽しもう」という表現が教科書の至る所に記載されており、子どもたちが国語を楽しめるように工夫されていました。また、1年生の教科書では、友だちとのコミュニケーションをとる場面にて、相手の声をまず受

け止めるという部分があり、そのような工夫をされているのは「光村図書」だけでした。

一方「東京書籍」はデジタルコンテンツが多く、内容も充実していましたが、説明や情報量がとても多く、子どもたちが学ぼうとする際のわくわく感が少なくなるのではないかと思いましたので、「光村図書」が良いと思います。

坂井委員

私も「光村図書」が良いと思います。各者とも読書の世界を広げるために本の紹介が多くされていましたが、「光村図書」の「ほんはともだち」というコーナーでは、本の紹介だけでなく、図書館の利用方法や、本の活用の仕方など、本に親しむ工夫がされていました。また、デジタルコンテンツについて、「光村図書」は、スピーチや話し合いが実写で行われており、紙面ではわかりにくい話す速度や間の取り方について説明がされていました。

「東京書籍」は、1年生にMIMの指導が取り入れられており、促音や長音について、その仕組みを理解できるように工夫されていることは評価したいと思いますが、最終的に現行教科書が「光村図書」であり、教材研究が進んでいるなかでさらに深めたいという声がありましたので「光村図書」が良いと思います。

藤村委員

「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」が充実できる教科書であるかをふまえ、私は「光村図書」が良いと思います。

各者とも、話し合い活動を促すためにキャラクターの吹き出しが効果的に使われているなどの工夫がされており、優劣つけ難い印象がありました。

「光村図書」は、各単元の巻末で「見通しをもとう」「問いをもとう」「もくひょう」が示されており、より明確に意識できるよう工夫されています。また、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」では、各学習段階の課題がきめ細かく意識されており、学習者の思考を促す工夫がされている点を評価したいと思いますので、「光村図書」が良いと思います。

福元教育長職務代理者

私もみなさんと同じく「光村図書」が良いと思います。全員一致で「光村図書」を採択したいと思いますよろしくお願いします。

全委員

異議なし

福元教育長職務代理者

異議なしとのことですので、国語は「光村図書」といたします。それでは次に、書写に移ります。書写につきましては、「東京書籍」・「教育出版」・「光村図書」の3者から見本本が届きました。

3者とも書くことに対する興味づけや6年間の学びを振り返るための工夫が見られました。

選定委員会からの報告書では、『「光村図書」は、巻末の系統表や6年生に付録されている「書写ブック」にて、系統性やこれまでの学びの振り返りを確認するための工夫がなされていました。また、3年生に付録されている「毛筆スタートブック」には、用具の準備や筆の使い方等が丁寧に記載されており、毛筆の学習の導入として使いやすい工夫がされておりました。さらに、5年生では、「書くときの速さ」の取り扱いがあり、インタビューのメモの書き方等、具体例を挙げながら場面に応じた書き方が示されておりました。

「東京書籍」は、目次が指導内容ごとに見やすく色分けされており、3年生以上は1年間で何を学ぶのかが視覚的に示されていました。また、左利きの鉛筆の持ち方について、大きく取り扱われていました。』とあり、「光村図書」「東京書籍」の順に候補として推薦がありました。

以上が書写についての報告となります。

以上の報告をふまえ、書写についての採択を行いますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

藤村委員

私は「光村図書」が良いと思います。3者とも、考える書写という観点で構成されており、問題解決的に書写を進めていくという意図を汲み取るができました。そのなかでも「光村図書」は、毛筆の筆遣い、穂先の向き、力の入れ方というものが非常に分かりやすく図示されており、子どもたちにとって、非常に使い勝手の良い教科書であると思います。また、国語と同じ教科書会社ということもあり、関連づけて指導しやすいことから「光村図書」が良いと思います。

大矢委員

私も「光村図書」が良いと思います。3者ともとてもわかりやすく、内容も拮抗していると思いました。しかし、書写では国語の教

	材も使用することから、国語の教科書と揃えた方が良いという教員の意見があることをふまえ、「光村図書」が良いと思います。
坂井委員	3者とも現行の教科書より改善されており、選ぶのが難しかったのですが私も「光村図書」が良いと思います。3年生の毛筆を比べたとき、「光村図書」は筆の運び方について「良い例」「悪い例」が罫の中に笑顔や困った顔などを書いてわかりやすく表現されていました。また、教材に登場するキャラクターについて、「光村図書」は猫が体を伸ばしたり、ぐっと止まったり、力を入れる際に壁を押してどのくらい力を入れるのかなどを表現しており、視覚的にわかりやすいと思いました。 一方「東京書籍」は、QRコードの動画で犬、ペンギンやカンガルー等多くのキャラクターが説明してくれる点が良かったのですが、最終的に「光村図書」は硬筆も毛筆もポイントの解説が付いて、角度を変え繰り返し例が示されており、とてもわかりやすかったことから「光村図書」が良いと思います。
福元教育長職務代理者	私もみなさんと同じく「光村図書」が良いと思います。全員一致で「光村図書」を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。
全委員	異議なし
福元教育長職務代理者	異議なしとのことです。書写は「光村図書」といたします。 それでは次に、社会に移ります。社会については、「東京書籍」・「教育出版」・「日本文教出版」の3者から見本本が届きました。3者とも「つかむ」「調べる」などの学びのプロセスが示されていました。 選定委員会からの報告書では、『教育出版』は、「つかむ」「しらべる」「まとめる」のステップで学習が展開され、さらに単元によってはその後に「つなげる」活動が設置されており、児童の主体的・対話的で深い学びが進められるよう工夫されていました。また、AI技術を活用して近代史の写真に色を付けるなど、資料が充実していました。「東京書籍」は、「まとめ」の活動が、「ノートにまとめる」「ノートと地図にまとめる」「新聞にまとめる」など、バリエーションが豊かで、児童の意欲を引き出すための工夫がされていまし

た。』とあり、「教育出版」・「東京書籍」の順に候補として推薦がありました。

以上が社会についての報告となります。

以上の報告をふまえ、社会についての採択を行いますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

坂井委員

私は「教育出版」が良いと思います。問いを中心に学習が展開されており、1時間の内容が見開きのページで構成されていてわかりやすいです。また、右ページの下に「次につなげよう」とあり、次の学習時間に問いがつながるような工夫がされていました。

さらに「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」では、今どの場面を勉強しているかが左端のインデックスで見分けることができ、单元ごとに色が統一されているので視覚的に大変わかりやすいと思いました。

6年生の教科書では、ハンセン病や障害者差別についても紹介されているほか、アフガニスタンで用水路を作る活動をされていた中村哲さんについても詳しく書かれていることもふまえ、「教育出版」が良いと思います。

藤村委員

私も「教育出版」が良いと思います。社会科の学習のねらいは、問題迫及をして、よりよい社会を考えることを大切にすることです。また、資料の活用や調査活動では多角的に考えることも大切です。3者ともよくまとまっていると思いますが、その狙いを捉えて、発展的に課題を学習し続けていくような工夫がみられた「教育出版」が良いと思います。

大矢委員

私も「教育出版」が良いと思います。3者ともよくまとまっていると感じました。しかし6年生の公民で比較すると、例えば選挙権年齢が18歳であることについて、「教育出版」と「日本文教出版」は高校生が投票している写真が掲載されていましたが、「東京書籍」はそのような写真がなく、選挙についてあまり強調されていないように感じました。また「教育出版」は、不在者投票の説明もあり、「皆で投票に行きましょう。」と呼びかけているところも評価します。また、調査員や選定委員からの報告もふまえ、「教育出版」が良いと思います。

福元教育長職務代理者	私は「日本文教出版」が良いと思います。特に、領土の定義についてしっかりと書かれており、現在の北方領土の様子等がカラー写真で掲載されており大変わかりやすいと思いました。 意見が分かれてましたが、「教育出版」3名、「日本文教出版」1名ということですので、社会は「教育出版」を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか
全委員	異議なし
福元教育長職務代理者	異議なしとのことですので、社会は「教育出版」といたします。それでは次に、地図に移ります。 地図については、「東京書籍」・「帝国書院」の2者から見本本が届きました。2者ともに、社会科の学習内容と関連付けながら活用できるよう工夫されていました。 選定委員会からの報告書では、『「帝国書院」は、全ての漢字にルビが振られていたり、地図全体が立体的で高低差を捉えやすかったり、児童が地図を見やすく、活用しやすいための工夫が多く見られます。また、大阪府について、「大阪市中心部」の地図が、見開き2ページで大きく取り扱われています。』とあり、「帝国書院」が採択候補として推薦されました。 以上が地図についての報告です。 では、地図についての採択を行いますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。
藤村委員	私は「帝国書院」が良いと思います。両者とも巻末には社会科の関連で産業や歴史、自然災害、世界とのつながりという項目が取り上げられており、要所でキャラクターが効果的に挿入されている点に分かりやすいと思いました。 「帝国書院」の地図は、高低差が明確で、文字量や情報量も丁度良く、近畿地方や大阪に多くページが割り当てられていることから、大阪府内在住者として、非常に使い勝手が良いと思いました。また地図の前半に「広く見わたす地図」が載せられており、地域全体を把握したうえで、細かい地点を見ていくという工夫がされ分かりやすいことから、「帝国書院」が良いと思います。

坂井委員	私も「帝国書院」が良いと思います。まず、地図が見やすいと感じました。また字体についても、「東京書籍」は全体的に丸ゴシック体で書かれていますが、「帝国書院」は、県名はゴシック体、地名は丸ゴシック体、川や海は青い明朝体、岬や島は黒い明朝体と、字体を分けて記載されていました。さらに自然災害や防災についてのページがあり、防災マップづくりができるよう工夫されている点を評価し、「帝国書院」が良いと思います。
大矢委員	私も「帝国書院」が良いと思います。 「東京書籍」は情報量が多い印象です。例えば1ページをみると世界地図にたくさんの国名が書かれており、領土についても海溝まで記載されており、興味がある人は喜んで見ますが、それがかえってわかりにくくしているのではないかと思います。 「帝国書院」は地図が充実しており、どのようにして地図が成り立つのかという説明も丁寧で分かりやすいので、「帝国書院」が良いと思います。
福元教育長職務代理者	私もみなさんと同じく「帝国書院」が良いと思います。全員一致で「帝国書院」を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。
全委員	異議なし
福元教育長職務代理者	異議なしとのことですので、地図は「帝国書院」といたします。それでは次に、算数に移ります。算数については、「東京書籍」・「大日本図書」・「学校図書」・「教育出版」・「新興出版社啓林館」・「日本文教出版」の6者から見本本が届きました。 6者とも数学的な見方・考え方をもとに、主体的・対話的で深い学びが実現されるように工夫されていました。また、既習の確認から新たな学習に取り組むという流れで、児童が安心して学習に臨むことができるような配慮がされていました。 選定委員会からの報告書では『「東京書籍」は、単元の冒頭に既習内容を振り返るページが、単元の最後には学習した数学的な見方・考え方を振り返り、日常生活の事象に生かすページがあり、児童の主体的・対話的で深い学びを促すことができるための工夫がありました。また、1年生の「すたあとぶっく」は、A4判が用いら

れており、教科書に直接書き込んだりブロックを置いたりできるようになっており、学習を進めやすい工夫がされています。

「学校図書」の単元冒頭「はてなを発見」では、児童の生活に身近なことが題材に取上げられています。そこから疑問を発見し、学習課題に進むことで、児童の主体的な学びにつなげられるよう配慮されています。』とあり、「東京書籍」・「学校図書」の順に候補として推薦があり、他の4者については、それぞれの者の良さはあるものの、大きな差は見られないとのこと。

以上が、算数についての報告です。

では、算数について採択したいと思いますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

藤村委員

私は「東京書籍」が良いと思います。

6者ともQRコードが非常に効果的に使われており、動画で分かりやすく説明する工夫がされているという印象を持ちました。

採択するうえで私が重要視したのは既習事項の取扱いについて、「東京書籍」と「学校図書」が導入部分で非常に効果的に取り扱われていると感じました。特に「東京書籍」の単元の構成は、まず今日の問題として課題を示し、次に学習のめあてを示す、そして、考える時の手立て、手がかり、手順を持って展開し、最後にまとめて構成されています。学習者の思考の流れに沿った展開がされていると感じました。

さらに、数学的な考え方がまとめの中で「たいせつなみかた、かんがえかた」という、虫眼鏡のイラストを使って明示しており分かりやすいことを評価し、「東京書籍」が良いと思います。

坂井委員

私も「東京書籍」が良いと思います。選定委員会から候補にあがった「東京書籍」と「学校図書」は別冊がありました。「東京書籍」には1年生用の別冊として「すたあとぶっく」があり、「学校図書」には6年生用の別冊として「中学へのかけ橋」があり、効果的なのは1年生用の別冊の「すたあとぶっく」であると思いました。

また「すたあとぶっく」はA4判で見やすく、教科書が中綴じになっているため平らにしてブロックも置きやすく、1年生が算数を学習するのに使いやすいと思いました。

さらに「東京書籍」はデジタルコンテンツが充実し、手書きノー

大矢委員

トの活用方法も丁寧に書かれている点を評価し、「東京書籍」が良いと思います。

私は「新興出版社啓林館」の教科書が興味深いと思いました。例えば、1年生で「前から何番目」を学ぶ時に、他者の教科書では動物を並べて「ぞうは3番目です」「ねこは2番目です」と表現していますが、現実ではそのようなことはありません。「新興出版社啓林館」では、子どもが身体測定で並んでいる場面が掲載されており、現実性があるなかで学ぶことができます。

また、4年生で角度を学ぶ時に、他者では「どちらの動物の方が口を大きく開けているか角度で調べてみよう」から始まりますが、「新興出版社啓林館」は360度の扇を作るところから始まるので、自分で角度を考えさせる工夫がされているなど他者にはない視点がありました。

しかし、調査員から「新興出版社啓林館」の問題は、全般的に難易度が高いという意見があり、視点としては良いが内容が難しいのであれば、算数が苦手な子どもには向かない教科書なのかもしれません。

そこで教員も「東京書籍」を推薦しており、先ほど坂井委員がおっしゃっていた別冊の「すたあとぶっく」についても非常に書き込みやすく、分かりやすい点を評価して、最終的には「東京書籍」が良いと思います。

福元教育長職務代理者

私もみなさんと同じく「東京書籍」が良いと思います。全員一致で「東京書籍」を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし

福元教育長職務代理者

異議なしとのことですので、算数は「東京書籍」といたします。それでは次に、理科に移ります。理科については、「東京書籍」・「大日本図書」・「学校図書」・「教育出版」・「新興出版社啓林館」の5者から見本本が届きました。

どの者も、児童が理科の見方・考え方を働かせ、主体的に問題解決に取り組むことができる流れがあり、児童の学びにつながる工夫がありました。

選定委員会からの報告書では、『「東京書籍」は、各単元の導入部「レッツトライ！」で、子どもたちの興味を惹くような事象や疑問を扱っており、子どもたちが意欲的に学習に取り組むための工夫が見られました。また、デジタルコンテンツが豊富で、デジタルノートは理科ノートとして活用でき、学習の振り返りとして「デジ問」も活用することができます。「新興出版社啓林館」は、「見つける・調べる・まとめる」の3段階の学びサイクルで、問題解決のための過程が示され、児童が問題解決能力を高めるための工夫がされています。また、巻末の「理科につながる 算数のまど」は、理科と算数の教科の結びつきを意識させるとともに、理科で必要となる数学的な知識・技能を再確認できる内容となっています。「学校図書」は、育成すべき資質・能力が「理科モンスター」として巻頭に載せられており、各単元での学習が何に結び付くのが分かりやすく、児童が見通しをもって学習に取り組むことができます。』とあり、「東京書籍」・「新興出版社啓林館」・「学校図書」の順に採択候補として推薦がありました。なお、選定委員会が教科書調査員から受けた報告では、推薦順位は「新興出版社啓林館」・「東京書籍」の順でしたが、選定委員会においては、『児童がより理科に対する興味・関心を持つことができる』という観点を重視し、「東京書籍」・「新興出版社啓林館」・「学校図書」の順位となった旨も報告を受けております。

以上が、理科についての報告です。

それでは、理科について採択いたしますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

大矢委員

選定委員の推薦では「東京書籍」が1位でしたが、私は「新興出版社啓林館」が良いと思いました。

「新興出版社啓林館」は、実験方法が適切で抜けがありません。例えば、3年生で虫眼鏡を使って黒い紙に光を集める実験で、紙を焦がすところまで行う場面にて、実験自体の説明も分かりやすく、「水を入れたバケツを用意しましょう」や「この部分に光を当てます」といった注意点が丁寧に記載されている点が良いと思います。

「東京書籍」は、調査員と選定委員の意見では「子どもの興味関心を惹くことが良い」という意見がありましたが、全体的に情報量が多いと感じました。理科的な見方・考え方を身につけることが大

切であると思いますので、「新興出版社啓林館」が良いと思います。

坂井委員

「東京書籍」か「新興出版社啓林館」で迷いました。両者とも、予想・計画・実験・観察・まとめという構成がとても分かりやすいと思いました。

レイアウトについて、「東京書籍」は教科書が大きい分、写真も大きく華やかで情報量も多く良いと思ったのですが、全て同時に目に飛び込んでくる印象を受けました。「新興出版社啓林館」は全体的に綺麗にまとめられており、余白もほどほどに色遣いも目に優しい印象を受けました。

また、子どもの吹き出し部分は両者ともにありますが、「新興出版社啓林館」は部分的にマーカーが引いており、理科の見方や考え方を確認することができます。さらに、まとめのページには「スマート解説」というQRコードがあり問題の詳しい解説を見ることができる点や「ウィズアース」というページには理科の視点から見た防災の紹介がある点を評価し、最終的に「新興出版社啓林館」が良いと思います。

藤村委員

私は「東京書籍」が良いと思います。理科離れが盛んに言われており、いかに子どもたちの興味関心を引き出すかが重要であります。

「東京書籍」の「レッツトライ」では、「これはどうしてなのだろう」というはてなを日常生活の中から引き出す、その後、どうしてなのかという予想をきちんと立てて、実験、検証するという流れが非常に丁寧に扱われていると思いました。また、巻末の「理科の調べ方を身に付けよう」では、十数ページに渡って説明しているところも非常に丁寧で特徴的である点を評価し、「東京書籍」が良いと思います。

福元教育長職務代理者

私は実験をいかに重視できているかの視点で各者の教科書を確認しました。そのなかで、実験の方法、注意点等が非常に詳しく書かれている「新興出版社啓林館」が良いと思います。

理科につきまして、「新興出版社啓林館」3名、「東京書籍」1名で意見が分かれました。選定委員会からは「東京書籍」が第1候補として挙げられましたが、みなさんの意見から、第2候補として挙

全委員

げられた「新興出版社啓林館」を採択したいと思います。よろしいでしょうか。

異議なし

福元教育長職務代理者

異議なしとのことですので、理科は「新興出版社啓林館」といたします。

それでは次に、生活に移ります。生活については、「東京書籍」・「大日本図書」・「学校図書」・「教育出版」・「光村図書」・「新興出版社啓林館」の6者から見本本が届きました。どの者も児童の「主体的・対話的で深い学び」のきっかけとなる工夫がなされています。

選定委員会からの報告書では、『「新興出版社啓林館」は、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3ステップがわかりやすく、子どもたちが興味・関心を持って主体的に学習に取り組む工夫がされています。また、単元の振り返りが、「できるかな できたかな」と問いかけの設定となっており、児童にとって振り返りの視点がわかりやすい工夫がされています。さらに、QRコードの数、写真のわかりやすさなど、最もバランスの良い構成となっております。「東京書籍」は、「かつどうべんりてちょう」で具体的な活動の事例が多数提示されております。また、「はなのようすをつたえよう」の単元では、植物の種から枯れるまでの様子の写真がわかりやすく掲示されています。「教育出版」は、写真が大きく鮮明で、植物の写真など種類が豊富にあります。』とあり、「新興出版社啓林館」・「東京書籍」・「教育出版」の順に採択候補として推薦がありました。

以上が生活についての報告です。

それでは、生活について採択を行いますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

坂井委員

私は「新興出版社啓林館」が良いと思います。

例えば、種の成長のページでは、何の種かを予想するところから始まり、教科書の左端に種が掲載され、その種がどのように成長したかの過程をページを戻らなくてもわかる工夫がありました。また、アサガオの成長動画では、どのように花が咲くか、どのように花が閉じるかを予想したり、芽が出るところから確かめることができるよう工夫されていました。その他「デジタル探検ブック」などのデ

	デジタルコンテンツも他者に比べて充実していましたので、「新興出版社啓林館」が良いと思います。
藤村委員	私も「新興出版社啓林館」が良いと思います。生活科は、スタートカリキュラムとして、就学前の「遊びから学ぶ」という活動と小学校の「授業」をつなぐ非常に重要な教科だと考えています。 その視点で見たときに、「新興出版社啓林館」は17ページに渡って「学校大好き1年生」として、就学前の経験と、小学校入学後の活動をつなげようと意図的に考えられていましたので、「新興出版社啓林館」が良いと思います。
大矢委員	私はどの教科書が良いか迷っています。例えば、「教育出版」は教科書の中で児童に問いかける場面があり、その問いが適切ではないと思われる箇所がありました。「東京書籍」と「新興出版社啓林館」は、両者ともよく似た構成であり、植物の種からの成長の写真もどちらも良く甲乙付け難いです。 他の委員、選定委員や調査員の意見をふまえ、最終的に「新興出版社啓林館」が良いと思います。
福元教育長職務代理者	私も、「新興出版社啓林館」が良いと思います。各単元の発問が適切で、デジタルコンテンツが充実しており、特に「びっくりずかんLIVE」は1冊の図鑑のような構成でした。 全員一致で「新興出版社啓林館」を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。
全委員	異議なし
福元教育長職務代理者	異議なしとのことですので、生活は「新興出版社啓林館」といたします。それでは次に、音楽に移ります。音楽は、「教育出版」と「教育芸術社」の2者から見本本が届きました。2者ともに児童が見通しをもって主体的に学ぶための工夫があります。 選定委員会からの報告書には、『「教育出版」は、3年生以上の教科書の巻末に、ソプラノリコーダーの運指表が折り込みページで綴じられており、他のページの楽譜を見ながら演奏するときに、運指表を確認することができるように工夫されています。また、各ペー

ジのキーワードが「音楽のもと」として右ページの上部にまとめられており、児童が音楽的な見方や考え方を意識して学習に取り組むことができる工夫がされています。』とあり、「教育出版」が採択候補として推薦されました。

音楽についての報告は以上です。

音楽について採択を行いますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

大矢委員

私は「教育出版」が良いと思います。「教育芸術社」ももちろん良いのですが、児童に考えさせたり関わりを持たせたりするための問いなど情報量が多い印象を受けました。例えば、3年生の歌のページに富士山の写真が載っています。「教育芸術社」は、そこに歌詞以外の書き込みが多くあり、「楽しんで歌おう」という気持ちが少し削がれるのではないかと感じましたので、「教育出版」が良いと思います。

藤村委員

私も「教育出版」が良いと思います。特に写真やイラストが効果的に掲載されており、子どもたちが状況をイメージしながら曲想を描くことができるのではないかと印象を受けました。また、リコーダーの運指標がとても使い勝手が良いと思いました。そのような理由から、「教育出版」を推薦したいと思います。

坂井委員

私も「教育出版」が良いと思います。

「教育出版」は、例えば鍵盤ハーモニカについて、1年生の教科書に鍵盤の大きな写真があり、実際の音がデジタルコンテンツで聞けるようになっていました。2年生の教科書でも鍵盤の写真があり、ドレミの音階が高くなっていくことを絵で表していて分かりやすいと思いました。またリコーダーについて、3年生の教科書にデジタルコンテンツで姿勢やタンギングの説明、高い音を出す時に親指を動かすサミングの実演動画などもありました。その他にもオーケストラの配置図も見やすく、指揮の説明や動画、ホルン、オーボエなどの楽器の演奏動画もありました。音楽は、教科書や楽譜を見るだけでなく、実際の音を聞いたり、演奏している姿を見る方がより分かりやすいと思いますので、その工夫が多く見られた「教育出版」が良いと思います。

福元教育長職務代理者	私もみなさんと同じく「教育出版」が良いと思います。全員一致で「教育出版」を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。
全委員	異議なし
福元教育長職務代理者	異議なしとのことです。音楽は「教育出版」といたします。それでは次に、図画工作に移ります。図画工作は、「開隆堂出版」と「日本文教出版」の2者から見本本が届きました。2者ともに児童の作品を多く掲載するなど、イメージがつかみやすい工夫がありました。 選定委員会からの報告書では、『「日本文教出版」は、他者に比べ掲載作品数が多いため、児童のイメージが広がり、創意工夫につながる工夫がされています。また、実際に児童が作成した作品、活動中の児童の様子や作品が多く掲載されており、イメージを持ちやすい工夫がなされています。』とあり、「日本文教出版」が採択候補として推薦されました。 以上、図画工作についての報告です。 では、図画工作について採択いたしますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。
藤村委員	私は「日本文教出版」が良いと思います。2者とも児童の作品が多く掲載され、創作意欲を引き出したり、活動のヒントになるような工夫がされていると思いました。特に「日本文教出版」は、活動の場面で児童の思いや発想が吹き出しとして掲載され、表現の題材については鑑賞のヒントとしてコメントが示されており、考えるきっかけをつくる工夫がされています。表現と鑑賞を関連付けて学習できるという点を評価し、「日本文教出版」が良いと思います。
坂井委員	私も「日本文教出版」が良いと思います。両者とも、使用する道具や材料、学習のめあて、振り返りがとても分かりやすく示されていると思いました。デジタルコンテンツで比較すると、「日本文教出版」の方が児童の作品の掲載数が多く、また回転させて見ることができる立体作品が多く掲載されていました。 また、教科書について、作品の背景に使用している色が、「日本文教出版」は淡い色を、「開隆堂」は濃い色を使用しているページ

大矢委員

が多くあり淡い色を背景にする方が作品を見やすいと感じましたので、「日本文教出版」が良いと思います。

私はどちらにするか迷っています。藤村委員や坂井委員のご意見にもあったように、両者とも写真が多く使われていましたが、写真が多く派手過ぎるため、どこを見て良いのかが分かりにくい印象がありました。

また、「開隆堂」は背景が必要以上に強調されており、作品がわかりにくい箇所もありました。教育委員の皆さんの意見と、調査員、選定委員の意見をふまえて最終的に「日本文教出版」が良いと思います。

福元教育長職務代理者

私も「日本文教出版」は同年代の子どもたちの作品が多く掲載されており、比較しながら自身の創作活動に生かすことができるので、「日本文教出版」が良いと思います。

全員一致で「日本文教出版」を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

福元教育長職務代理者

異議なしとのことですので、図画工作は「日本文教出版」といたします。それでは次に、家庭に移ります。家庭は、「東京書籍」・「開隆堂出版」の2者から見本本が届きました。2者ともに、児童が安全安心に学習に向かうための配慮がなされています。

選定委員会からの報告書では『「開隆堂出版」は、実習の作業工程が詳細に説明されており、児童が安心・安全に実習に取り組むための配慮がされています。また、単元設定が細かく、一つひとつの学習のめあてがスモールステップで設定されています。さらに、現在採択中の同者の教科書と比較して、SDGsに関する内容やデジタルコンテンツが充実していることも特徴です。』とあり、「開隆堂出版」が採択候補として推薦されました。

以上、家庭の報告です。

家庭について採択いたしますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

坂井委員	私は「開隆堂出版」が良いと思います。 「開隆堂出版」は、調理や製作の実習で、手順が全て横長で書かれており、色分けもされているのでとても見やすいと思いました。製作物の難易度が星印で記され、また、ミシンの実習ではミシンの上糸と下糸の色を変えていたり、ボビンを入れる糸の巻いている方向がわかりやすいように赤い点線で書かれていたりなどの工夫も見られました。また、デジタルコンテンツも豊富にありますので「開隆堂出版」が良いと思います。
藤村委員	私も「開隆堂出版」が良いと思います。 家庭科は、調理やソーイングなどの実習が多くありますが、どのような順序で、その時に何を配慮すればよいのかをわかりやすく説明されていたので、「開隆堂出版」が良いと思います。
大矢委員	私も「開隆堂出版」が良いと思います。 どちらの教科書も楽しく学べそうな印象を受けましたが、坂井委員や藤村委員の意見にもありましたとおり、調理の手順を横並びで見ることができる点が良いと思いました。また、問いかけの発問が多く、児童に考えさせようとする姿勢が伝わる点も評価して、「開隆堂出版」が良いと思います。
福元教育長職務代理者	私もみなさんと同じく「開隆堂出版」が良いと思います。全員一致で「開隆堂出版」を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。
全委員	異議なし
福元教育長職務代理者	異議なしとのことですので、家庭は「開隆堂出版」といたします。 それでは次に、保健に移ります。 保健は、「東京書籍」・「大日本図書」・「大修館」・「文教社」・「光文書院」・「学研」の6者から見本本が届きました。6者とも児童が自分の生活を見つめ、学びを実生活に生かそうとする視点を持つことができるように工夫されています。 選定委員会からの報告書では、『「東京書籍」は、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」で授業の流れが統一されており、児童も教師もわかりやすい展開と

なっています。また、デジタルコンテンツは動画だけでなく、児童が共感しやすい事例を扱ったワークシートなど、他者と比べ種類が豊富で量も多く活用がしやすくなっています。

「学研」は、写真とイラストを効果的に使い分けています。例えば、体の表現ではリアルな表現にならないようにイラストを多用して馴染みやすくしているなど、全体的にバランスのよい構成となっています。』とあり、「東京書籍」・「学研」の順に採択候補として推薦されています。また、「大日本図書」・「大修館」・「光文書院」については甲乙つけ難く同順、次に「文教社」となっています。

以上が、保健の報告です。

保健について採択いたしますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

藤村委員

私は「東京書籍」が良いと思います。保健は、健康という点から考えると、自己の課題を考えて改善につなげていくことが大切だと考えています。「東京書籍」は、健康を保つ習慣をスキルという形でわかりやすく示されており、また昨今問題になっている薬物乱用についても非常に丁寧に扱っていると思いました。

学習の展開、授業の展開についてですが、「学研」も単元の特徴に合わせて工夫されていますが、「東京書籍」は、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という4段階のステップがわかりやすいと感じました。以上の理由から、「東京書籍」が良いと思います。

大矢委員

私も「東京書籍」が良いと思います。

「学研」は、児童自らが教科書に書き込む工夫がされており、教科書が充実することで自身が学んできたことが分かることはとても良いと思います。しかし、「性の多様性」というLGBTの問題を最もしっかり扱われていたのは「東京書籍」でした。

3・4年生の教科書38ページの「性と自分らしさ」では、「体の性」「心の性」「好きになる性」「表現したい性」の4つについて記載されています。他者の教科書では、「好きになる性が異性でない人もいます」「個人差があります」という表現に留まっていた。そのような性があること、多様な性があることを皆が知って、初めてその人が生きていけると思います。「性の多様性」を丁寧に

坂井委員

扱っている「東京書籍」が良いと思います。

私はどれが良いか迷っています。インターネットトラブルについては各者が非常に多く情報を掲載しておりました。レイアウトは「東京書籍」と「学研」が見やすく、自転車のルールとマナーについて「東京書籍」「大日本図書」「光文書院」は動画で説明しており、車の死角や内輪差について分かりやすいと思いました。

最終的には、大矢委員のご意見にもありましたとおり、性の多様性を丁寧に扱っていることやデジタルコンテンツの豊富さを評価し、「東京書籍」が良いと思います。

福元教育長職務代理者

私も「東京書籍」が良いと思います。大矢委員と坂井委員と意見が重複しますが、LGBTの取り扱いが最も丁寧であり、デジタルコンテンツが他者に比べて種類が豊富で内容も充実していると思いました。

全員一致で「東京書籍」を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし

福元教育長職務代理者

異議なしとのことですので、保健は「東京書籍」といたします。それでは次に、英語に移ります。

英語は、「東京書籍」・「開隆堂出版」・「三省堂」・「教育出版」・「光村図書」・「新興出版社啓林館」の6者から見本本が届きました。どの者も目的・場面・状況に応じた4技能5領域の言語活動が設定されています。

選定委員会からの報告書では『「光村図書」は、「Hop!」「Step!」「Jump!」で学習の流れがわかりやすく、Unitの冒頭にそれぞれの活動についての内容が示されており、児童が主体的に学ぶことができるように配慮されています。また、「書く」活動の後に声に出して「読む」活動があり、子どものコミュニケーションを促す課題設定となっています。さらに、活動の量が年間の授業時数に対してちょうどよい分量であることも特徴です。

「東京書籍」は、Unitが、「音に出会う→会話に慣れる→コミュニケーションに使う→広げる」という展開に統一されており、児童

がスモールステップで学習の目標に到達できるように工夫されています。また、「My Picture Dictionary」に、「CAN-DO の樹」が掲載されており、児童が学習を通して何ができるようになったかがわかりやすく示されています。「教育出版」は、学年のまとめ「My book」を作ることで、1年間の学びを振り返ることができるようになっていきます。』とあり、「光村図書」・「東京書籍」・「教育出版」の順に採択候補として推薦がありました。残りの3者については甲乙つけ難く同順ということです。

以上が、英語の報告です。

英語について採択いたしますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

大矢委員

私は「光村図書」が良いと思います。

「東京書籍」も展開がパターン化しておりとてもわかりやすくなっていますが、英語はやはり「聞く」活動が大事だと思います。「光村図書」のデジタルコンテンツには世界の友達という設定で、ネイティブではない人たちの英語も聞くことができ、コミュニケーションのための英語というスタンスではとても好ましいと思いました。また5年生の10ページの「コミュニケーションの基本」では、「スマイル」「アイコンタクト」「レスポンス」「クリアボイス」が大切であるということが示されています。以上の理由から英語のコミュニケーションを大切にしている「光村図書」が良いと思います。

坂井委員

私は「光村図書」か「東京書籍」で迷いました。「光村図書」は「Hop!」「Step!」「Jump!」の学習の流れがとてもわかりやすく、「東京書籍」はスモールステップで展開され、中身が統一されておりとてもわかりやすいと思いました。導入部分を比較したところ、「東京書籍」は導入ページから聞いて書く活動になっていましたが、「光村図書」は、聞いてそれに当てはまるイラストを指で差すという活動があり、英語が苦手な子どもでも理解しやすい工夫がされていると思いました。また、導入後の展開について、「光村図書」は「話す」「聞く」「書く」の構成のバランスが良い一方で、「東京書籍」は書くスペースが多いと感じましたので、最終的に「光村図書」が良いと思います。

藤村委員

私も「光村図書」が良いと思います。その理由は3点あります。1点目は、外国語活動でコミュニケーションが大きなねらいとなっているなかで「光村図書」は非常に優れていると思いました。例えば、オープニングページが見開き2ページに渡って、1つのテーマについて大きなイラストが配置されています。そこからいろいろな会話を引き出していくという工夫がされていました。一方「東京書籍」は、関連性の複数場面で構成されており、児童にとって場面が想定しにくく、情報量が多いのではないかと感じました。

2点目は、書き込み箇所についてです。「東京書籍」は多くのスペースを設けて、書くことで学習活動を振り返るという構成をしているのですが、少し多過ぎるのではないかと感じます。書くことに時間を費やすことが、授業を進めていくうえでの負担になるのではないかと危惧しました。

3点目は、6者ともデジタルコンテンツが工夫されていますが、特に「光村図書」では教科書のイラストと対応した会話が多く取り扱われていました。以上の理由から「光村図書」が良いと思います。

福元教育長職務代理者

私も「光村図書」が良いと思います。

最近の報道で、日本の英語教育の課題は、話すことをいかに押さえるかが大事であるという記事を拝見しました。コミュニケーションを一番大切に、会話に焦点を当てた教科書ということでいえばやはり「光村図書」ではないかと思いますので、私も「光村図書」が良いと思います。

全員一致で「光村図書」を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし

福元教育長職務代理者

異議なしとのことですので、英語は「光村図書」といたします。それでは次に、道徳に移ります。

道徳は、「東京書籍」・「教育出版」・「光村図書」・「日本文教出版」・「光文書院」・「学研」の6者から見本本が届きました。どの者も、物事を多面的・多角的にとらえ「考え議論する道徳」のための多様な学習方法を取り入れる工夫があります。

選定委員会からの報告では、『「光村図書」は、各教材のページに

内容項目が記されていないため、児童が教材に先入観を持つことなく学習を進めることができるように工夫されています。また、各教材末にある「考えよう・話し合おう」は、他者に比べ児童が主体的に多面的・多角的な考えを出すことができるように工夫された発問となっています。さらに、巻頭の「道徳が始まるよ」・「道徳みちあんない」で1年間の学びがわかりやすく示されています。

「東京書籍」は、「考えよう」の発問内容が、児童の多面的・多角的な考え方を導き出すような内容となっています。また、教材文の冒頭にリード文がないので、児童は先入観なく教材を読み進めることができ、多様な考えを持つことにつながるよう工夫されています。

「日本文教出版」は、「ぐっと深めよう」で、言語活動の取り組み方や具体例をもとに個人の考えを伝える場が設定されています。』とあり、「光村図書」・「東京書籍」・「日本文教出版」の順に採択候補として推薦がありました。なお、その他3者については甲乙つけ難く同順とありました。

以上が、道徳の報告です。

道徳について採択いたしますので、委員の皆様はご意見をお願いいたします。

大矢委員

私は「光村図書」が良いと思います。「ここを通わそう」というトピックが各学年にあり、どのように対話やコミュニケーションを図るかを大切にしているスタンスが良いと思いました。摂津市の子どもたちには様々な課題がありますが、コミュニケーション能力もその一つだと感じています。また、「考えるじゅんぴたいそう」というトピックは国語でも役立つと感じました。

6年生の164ページは「自分たちでできることはないか」と、児童に考えさせる内容でした。これはやはり、今、摂津市が子どもたちにもっと主体性を持ってもらうために、さまざまな取組をしておりますので、それに則して内容になっており良いと思いました。以上の理由から、私は「光村図書」が良いと思います。

坂井委員

私も「光村図書」が良いと思います。

コミュニケーションを図るうえで大切なことについて、2年生から巻頭で話し合うためのコツを紹介するページがあります。また、

本文中の「こころを通わそう」では、友だちと仲良くなるために、1・2年生では「自分を知ってもらい、伝えること」、3・4年生では「友だちに『ぽかぽか言葉』をかけてみること」、5・6年生では「相手の気持ちを考えて、相手の立場に立って声をかけること」というように、お互いを認め合えるような活動の紹介がありました。また、ヨシタケシンスケさんの「なんだろうなんだろう」が引き続き掲載されており、答えが決まっていない問いを多面的に楽しく考えられると思いました。

いじめについては、6年生の「隣る人」で、中川翔子さんのいじめの経験をもとにいじめの定義が書かれており、より子どもたちの心に届くと思いました。また、5年生で「子どもの権利条約」、6年生では「世界人権宣言」について条文が全て記載されていることなども評価し、「光村図書」が良いと思います。

藤村委員

私も「光村図書」が良いと思います。

道徳科は、「考え議論する道徳」を大切にしたいと考えています。そのためには、子どもの多面的・多角的な見方に、自由度が保障されるような教科書であってほしいと思います。

「光村図書」の「かんがえよう」「はなしあおう」という発問の内容は、子どもたちの考えを引き出すため、「考えるヒントにする」という単元の構成や工夫があり、より優れた教科書であると思いましたので、「光村図書」が良いと思います。

福元教育長職務代理者

私も道徳の基本として、人と人が関わるときに心を通わせることが大切であると考えます。コミュニケーションを大切にしようということが教科書の中身に謳われている「光村図書」が良いと思います。

全員一致で「光村図書」を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし

福元教育長職務代理者

異議なしとのことですので、道徳は「光村図書」といたします。それでは採択は以上となりますので、採択結果について確認させていただきます。

	国語 光村図書株式会社 書写 光村図書株式会社 社会 教育出版株式会社 地図 株式会社帝国書院 算数 東京書籍株式会社 理科 株式会社新興出版社啓林館 生活 株式会社新興出版社啓林館 音楽 教育出版株式会社 図画工作 日本文教出版株式会社 家庭 開隆堂出版株式会社 保健 東京書籍株式会社 英語 光村図書株式会社 道徳 光村図書株式会社 以上でございます。
	続きまして、議案第29号のうち「摂津市立中学校における令和6年度使用教科用図書採択の件」について審議いたしますので、教育支援課から説明をお願いします。
教育支援課長	議案第29号のうち「摂津市立中学校における令和6年度使用教科用図書採択の件」について、ご説明申し上げ承認を求めるものです。
	【以下、議案書等により説明】
福元教育長職務代理者	説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等はございますか。 質問等が無いようですので、議案第29号のうち「摂津市立中学校における令和6年度使用教科用図書採択の件」について、今年度と同じ教科書を採択することよろしいでしょうか。
全委員	異議なし
福元教育長職務代理者	異議なしとしますので、議案第29号のうち「摂津市立中学校における令和6年度使用教科用図書採択の件」については今年度と同じ教科書を採択することといたします。

	それでは、今後の情報公開に関わる日程について説明をお願いします。
教育支援課長	今後の情報公開に関わる日程について確認をいたします。 教科用図書採択事務に関することについては、一定期間、具体的には文部科学省が示す採択期間である8月31日まで非公開ということで進めてまいりました。 しかし、本日の採択に係る審議を公開といたしましたので、採択結果のみ速やかに公開し、議事録等については整えたうえで、9月1日以降に公開したいと考えておりますが、よろしいでしょうか。
福元教育長職務代理者	教育支援課長から説明のありました日程について、異議はございますか。
全委員	異議なし
福元教育長職務代理者	異議なしということですので、そのようにお願いいたします。 以上で議案審議を終了いたします。 これを持ちまして本日の案件はすべて終了いたしましたので、臨時教育委員会議を終了いたします。皆さんご苦労様でした。